

事例4-5



取組名	小室町会の今後を考える会		
町会名	おもろ小室町会（梓川地区）	町会データ	・人口／480人 ・世帯数／190世帯 ・高齢化率／45.4% ・町会加入数／159世帯 ・隣組数／16
取組概要	○ 球技大会の存廃に関するアンケート調査を契機に、検討組織（小室町会の今後を考える会）を設置し、町会の運営改善を推進		

背景・課題

- ・ 夏の球技大会は、町会全住民参加の大規模イベントだったが、コロナ禍を機に労力と予算の負担が問題となった。
- ・ また、住民の高齢化と若者の減少により参加者が少なくなった。

経過・取組内容

- ・ 上記の状況を踏まえ、R2.12に球技大会の継続について、住民アンケート調査を実施した。アンケートは「①存続、②廃止、③新たな企画、④関心なし、⑤その他」から選択するものとし、結果はR3.1に報告した。
- ・ 町会役員とは別にアンケート結果を検討する会として、R3.3の総会において「小室町会を考える会」の設置を決定
- ・ 町会内4地区から、各4名（内女性1名）を選出した。また、現町会役員は会には参加せず、前町会長が会長として参加した。
- ・ 会では、町会行事のあり方のほか、町会費や各種団体への助成金等、町会運営の懸念事項についても検討することとした。
- ・ 会議は毎月開催（計7回）。各回1～2議題を検討し、R4.1に検討結果をまとめた報告書を町会へ提出。報告内容を町会役員（組長会）で検討し、方針（案）をまとめた。

（考える会、組長会による検討結果）

- ① 大規模イベントについて
新たなイベントの実施も難しいことから中止
- ② 婦人部について

行政からの依頼業務、地区行事への参加等もあるため、婦人部とともに時間をかけて対応

- ③ 敬老会について
参加者が少ないため、お祝い品の贈呈に変更
 - ④ 町会費について
町会費の支払いが困難な住民には、減免措置を周知。また、事業の見直しにより経費削減が見込まれるため、町会費の減額を検討
 - ⑤ 各種団体への助成金について
助成金の利用実績を調査し、次年度、対象団体及び助成額を検討
- ・ R4.3の総会において、方針（案）を議題とし、承認を受ける。
 - ・ R4年度中に未調整項目を検討し、R5.3の総会で、以下の項目について承認を得た。
 - ① 婦人部について 選出人数を削減
 - ② 助成金について 団体毎に助成額を提示
 - ③ 町会費について 事業削減経費及び団体助成金を精査した上で、減額（案）を提示

成果・今後の展望等

- ・ 事業の縮小や各種団体への助成金の見直しにより、町会役員等の負担軽減や経費節減を図ることができた。
- ・ 一部の球技（マレットゴルフやゲートボール）は、愛好会が継続して行っている。

【ポイント】

- ▼ 役員以外での検討組織（考える会）を設置したことで、固定概念にとらわれず、集中的に検討

アンケート記入用紙

(1) 球技大会の存続について、該当するものに○をつけてください。

- A. 存続する (いままで通りの運営でよい)
- B. 存続しない (球技大会は実施しない)
- C. 新しい企画で実施したい (球技にこだわらない企画)
- D. 関心はない (どうでもいい)

(2) 上記の質問で・・・

- Aと回答された方は、存続させたいと思う理由を教えてください。
- Bと回答された方は、存続させたくないと思う理由を教えてください。
- Cと回答された方は、あなたが思う企画について教えてください。
- Dと回答された方は、どういう企画ならば参加したいと思いますか。

(3) その他町会の行事について思うことあればご記入ください。

ご協力ありがとうございました。